

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,979	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素換 排出 量 算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,979

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 4 年度		令和 7 年度		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度		
温室効果ガス 総 排 出 量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）				%		%		%	%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%	%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 4 年度		令和 7 年度		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度		
原単位あたりの 排 出 量	1.536	t-CO ₂ / 千連	1.49	t-CO ₂ / 千連	1.513	t-CO ₂ / 千連	1.52	t-CO ₂ / 千連	t-CO ₂ / 千連
削減率（対 基準年度）			3.0	%	1.5	%	1.0	%	%
原単位あたりの みなし排出量						t-CO ₂ / 千連		t-CO ₂ / 千連	t-CO ₂ / 千連
削減率（対 基準年度）						%		%	%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

<ul style="list-style-type: none"> ・空調スケジュール、設定温度の見直しにより削減ができた。 ・印刷部数の減少により、固定エネルギー比率の増加により原単位が増加する。
--

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源行動の実践・冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機のスケジュールの定期的な見直しを実践する。 ・空調機のフィルタ清掃など効率の良い運転のための点検、保守管理を実施する。 ・パッケージ空調機の室外機のフィン洗浄を定期的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージ空調機の室外機のフィン洗浄を3年周期で実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室外機フィン洗浄 令和6年7月に実施 ・印刷体制変更に伴う空調スケジュールの変更実施 ・印刷フロア空調制御の見直し
省エネルギー・省資源行動の実践・照明	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していない箇所や休憩時間の消灯を徹底する。 ・LED器具への更新を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる徹底を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施
省エネルギー・省資源行動の実践・OA機器	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、モニタ、プリンタ等は業務終了時のスイッチオフを徹底する 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる徹底を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施
省エネルギー・省資源行動の実践・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド監視装置の活用により、最大需要電力を抑制する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる徹底を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施
工場等の製造工程における対策	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞印刷で発生する損紙（商品にならない不良紙）を削減する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標損紙率：3.25% 	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度 損紙率3.09%

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 2 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・両面コピー、裏紙利用によりコピー用紙の削減を実施した。 ・雑誌や段ボールを分別回収し、リサイクルを推進した。 ・納入業者や配送業者に対してグリーン配送を要請した。
--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全の日を社員に広め、省エネルギーの実践ができた。
--